



UR賃貸住宅  
団地景観フォト&スケッチ展 2015  
作品集

ふれあいの団地 ～暮らしの風景～

街に、ルネッサンス



一日も早い東北の復興へ 全力で取り組んでいます



ふれあいの団地 ～暮らしの風景～

## ごあいさつ

UR賃貸住宅は、日本全国に1,700団地以上あります。

その立地や規模、建設年代は様々ですが、

それぞれの団地が、緑豊かな住環境や、団地を舞台にしたいきいきとした生活シーンなど

独自の魅力ある景観を育んでいます。

団地ならではの魅力を皆様と共有することを目的として

2008年に「団地景観サミット」という名称でスタートした写真とスケッチの公募展は、

今回で第7回目の開催を迎えることができました。

2014年から、開催名称を「UR賃貸住宅 団地景観フォト&スケッチ展」として改め、

2015年は「ふれあいの団地～暮らしの風景～」をテーマに開催いたしました。

今回も全国から、団地で育まれたあたたかなふれあいや交流、団地が魅せる四季折々の表情など、

団地への想いに溢れた作品とメッセージを多数お寄せいただきました。

多くの皆様からの作品応募に、心よりお礼申し上げます。

UR都市機構は、皆様から愛される住環境として、

また地域の資産として、団地の持つ環境や景観をこれからも守り育ててまいります。

## 目次

フォト&スケッチ展概要 04

審査員プロフィール 06

受賞作品・応募団地の紹介 08

● フォト大賞 10

● スケッチ大賞 12

● UR理事長賞 14

● 優秀賞 16  
(大西 みつぐ・千葉 学・なかだ えり・池邊 このみ・UR都市機構 選)

● 入賞 26

● 応募団地 34

審査の風景 44

---

■ 受賞者および有識者審査員の敬称は省略させていただいております。

■ 受賞作品の紹介内容は原則下記の順で掲載しております。

作品タイトル／氏名／団地名称(都道府県)／メッセージ

■ 「応募団地」は応募作品をトリミング加工の上、掲載しております。

## フォト & スケッチ展概要

### 開催概要について

UR賃貸住宅 団地景観フォト&スケッチ展2015は、UR都市機構が管理する全国の団地の、豊かな環境をより多くの方々に知っていただくことを目的に、「ふれあいの団地～暮らしの風景～」をテーマとして開催しました。

応募作品は、UR賃貸住宅のコミュニティや景観を題材とした写真、またはスケッチとし、皆様の団地景観に対する想いを、タイトルとメッセージで表現していただきました。応募資格は、できる限り多くの方々に参加していただくため、団地にお住まいの方だけではなく、団地に関心のあるすべての方としました（プロの写真家や画家の方を除く）。

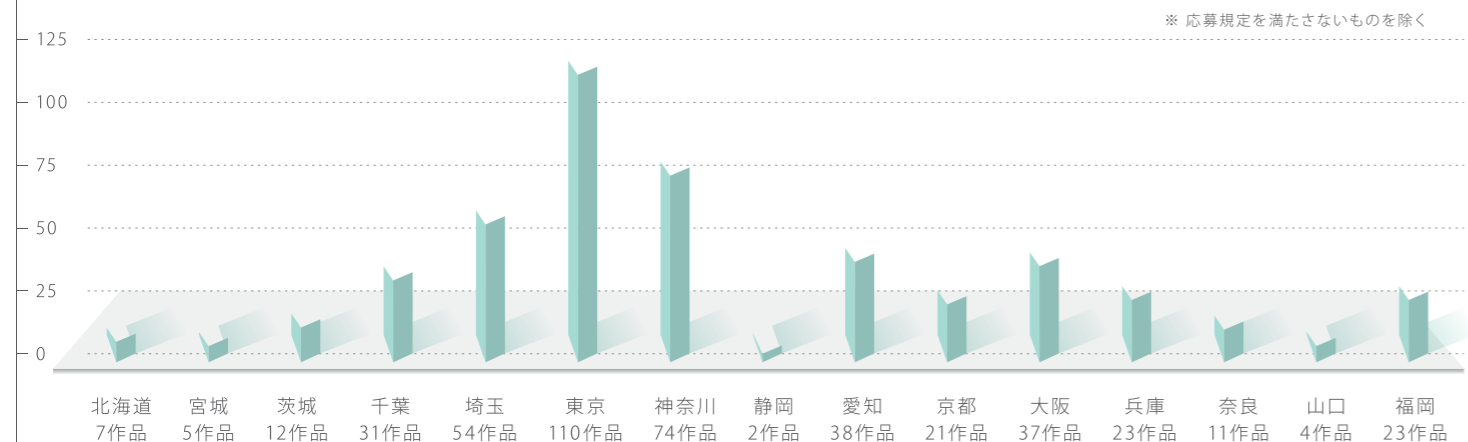
約4カ月の募集期間を経て、221名の皆様から、約500作品（フォト463作品／スケッチ36作品）のご応募をいただきました。

その中から、4名の有識者審査員（以下、審査員）による審査とUR職員投票により、フォト大賞1作品・スケッチ大賞1作品（全審査員による協議により選定）、UR理事長賞1作品、優秀賞5作品（各審査員1作品、UR職員投票による最多得票1作品）、入賞15作品（UR職員投票による上位作品）を選出しました。なお、審査過程では作品の応募者名を無記名とし、写真やスケッチの内容に加え、タイトルとメッセージを含めた総合的な評価をさせていただきました。

### スケジュール

2015年4月21日	開催予告
2015年5月20日	開催発表
2015年5月20日～9月15日	作品募集期間
2015年9月～11月	応募作品の審査 [ UR職員投票審査 → 有識者審査 ]
2015年12月25日	審査結果の発表

### 都道府県別応募作品数



## 応募作品の分類

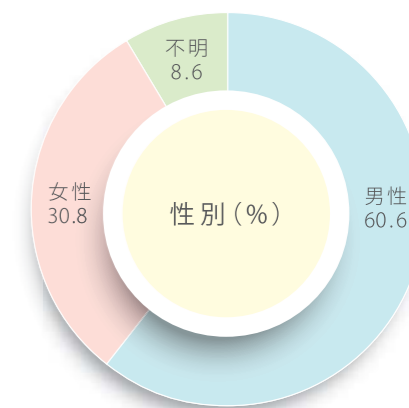
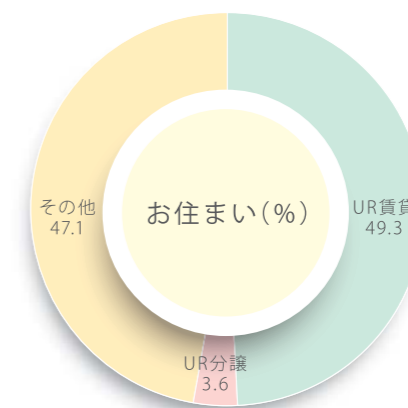
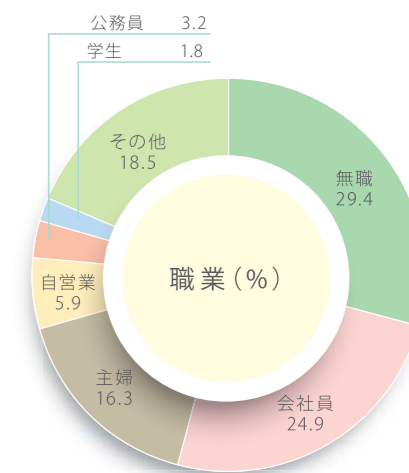
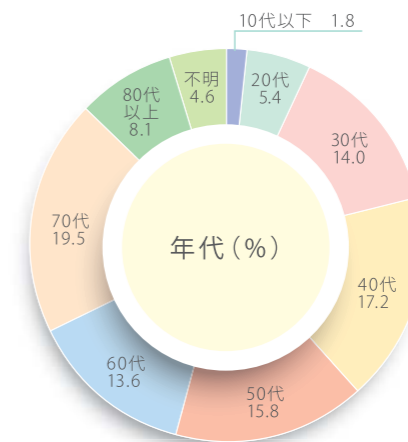


- 1 街並み・団地風景・夜景 24.3%
- 2 人の活動 20.8%
- 3 シンボルツリー・花・花壇・屋上緑化 12.9%
- 4 広場・公園（団地内） 10.7%
- 5 建物 8.6%
- 6 自然（雪・空・動物等） 7.2%
- 7 並木・林・緑地等 6.5%
- 8 屋外施設 2.6%
- 9 水辺・ビオトープ 2.1%
- 10 その他 4.3%

### 応募が多かった団地

団地名	所在地	作品数
多摩平の森	東京都	14作品
北砂五丁目	東京都	14作品
花畑	東京都	11作品
コンフォール上野台	埼玉県	11作品
芦屋浜	兵庫県	11作品
赤羽台	東京都	10作品
男山	京都府	9作品
白鳥パークハイツ大宝	愛知県	9作品
えびな	神奈川県	8作品
武里	埼玉県	8作品
戸頭	茨城県	8作品
みさと	埼玉県	7作品
東雲キャナルコートCODAN	東京都	6作品
村上	千葉県	6作品
奈良北	神奈川県	6作品
プラザシティ新所沢けやき通り	埼玉県	6作品
朝倉	愛知県	6作品
北坂戸	埼玉県	6作品

## 応募者の属性



## 審査員プロフィール



大西 みつぐ氏  
写真家

東京総合写真専門学校卒業。1985年「河口の町」で第22回太陽賞、1993年「遠い夏」ほかにより第18回木村伊兵衛写真賞受賞、江戸川区文化奨励賞受賞。1970年代から東京の下町を拠点として撮影活動続けるほか、大学や専門学校などで若い世代を指導、また各カメラ雑誌において記事執筆、月例コンテスト審査員を歴任するなど写真愛好家へのアドバイスも積極的に行なっている。

日本写真協会、日本写真家協会会員、ニコールクラブ顧問、大阪芸術大学客員教授。

Mitsugu OHNISHI Photographer

## 総評

昭和の時代を団地で暮らしたひとりとして、多様な作品が並ぶなかにも、そこに生活する人々のささやかな幸福感がシャッターの余韻のように浮かび上がってくる作品に心ひかれました。写真は時間や空間を切り取るものであるため、印象に残る出来事が一つの画面にいてねいに盛り込まれるのではないのでしょうか。季節感やロケーションなど、いろいろな工夫が凝らされた作品が多いように感じました。



千葉 学氏  
建築家

1985年東京大学工学部建築学科卒業、1987年同大学院工学系研究科建築学専攻修士課程修了、株式会社日本設計、ファクターエヌ共同主宰を経て、2001年千葉学建築計画事務所設立。2009年-2010年スイス連邦工科大学客員教授、現在、東京大学大学院工学系研究科建築学専攻教授。主な受賞に第27回村野藤吾賞（工学院大学125周年記念総合教育棟）、ユネスコ・アジア太平洋遺産賞功績賞（大多喜町役場）、2009年日本建築学会賞（作品）（日本盲導犬総合センター）など。

例年、応募作品を見るたびに団地への理解をあらためて深める思いがします。団地は今や、私たちの原風景のような存在になっているのではないのでしょうか。地域の風景を撮るとき、団地はひとつの大事な要素となりえるように思います。今年は特に、住んでいる方々の場所に対する愛着や楽しさ、小さな気づきなどが伝わる作品に注目してみました。団地から生まれるコミュニケーションを表現した作品に、今後も期待したいと思っています。

Manabu CHIBA Architect



なかだ えり氏  
イラストレーター

日本大学生産工学部建築工学科卒、法政大学工学部建築学科修士課程修了。フリーランスでイラスト、執筆、建築設計など多分野で活動中。東京・千住にて築200年の「蔵」をアトリエとしてきたが、2014年より元スナックをリノベーションした建物に拠点を移す。千住の古い建物を活用する活動に参加。著書に「大人女子よくばり週末旅手帖」（エクスナレッジ／2015年）、「駅弁女子～日本全国旅して食べて」（淡交社／2013年）、「奇跡の一本松～大津波をのりこえて」（汐文社／2011年）など。「奇跡の一本松」は平成27～30年度の小学校の道徳の教科書に掲載。

審査に参加させていただいているうちに、子供のころは無機質なイメージで見ていた団地が、緑あふれる、自然の豊かな空間であることがわかってきました。四季折々を大切にしながら暮らしている方々の存在を感じます。今回は、ささやかな暮らしのなかの幸せが表現されている作品が心に残りました。なかでも特に、人間性をクローズアップしている作品を中心に選ばせていただきました。

Eri NAKADA Illustrator




池邊 このみ氏  
ランドスケーププランナー

千葉大学大学院教授、専門は造園デザイン学。千葉大学大学院博士課程修了、住信基礎研究所、ニッセイ基礎研究所等をへて、現職。2007年より3ヵ年、UR都市機構の都市デザインチームリーダーを兼務。学術会議連携会員、国土交通省社会資本整備審議会委員、文化庁名勝部門審議委員、国土交通省景観賞審査委員、陸前高田市文化財保全活用調査委員長、高田の松原復興祈念公園構想会議委員、都市景観大賞審査委員、都市公園コンクール審査委員等を務める。

今回は多様な作品が多く、コミュニティの温かさを感じられる作品や、団地の特徴的な空間が表現された作品が選ばれていると感じます。このコンテストでは写真あるいはスケッチとメッセージを一つの作品として評価するので、よりいっそう皆さんの団地に対する思いが伝わってくる作品が評価されているのではないのでしょうか。全国のURの団地の魅力や、そこに住まう生活の楽しさなど、さまざまな情景を見ることができて、大変満足です。

Konomi IKEBE Landscape planner



受賞作品・応募団地の紹介



## フォト大賞

---

### 雪の日 山内 佳子

五輪（北海道）

雪がしんと静かに降る冬の五輪団地の風景です。  
雪かきは大変ですが、こんな幻想的な風景は雪国ならではのものです。

---

#### 【審査員からのコメント】

「足音だけが通り過ぎていく、雪の降る街」誰もがいつか歌ったあの世界が静かにここに息づいています。とても美しい色彩で表現されました。左端の街灯が入ったことで奥行き感も強調され、中央の部屋の灯りも加わり、私たちの暮らしの中での安堵感を盛り上げています。細かな雪もまさに幻想的。落ち着いた描写力です。 [大西 みつぐ]



## スケッチ大賞

### みどりがいっぱい 居村 倫也

壬生坊城第二（京都府）

夏の暑い日でしたが、この場所だけは、涼しい風があって気持ち良かったです。小学生の女の子と若いお母さんと幼児が安心して散歩しているのが見えて、見ていると私も心がなごむ光景に出会えました。当たり前前の情景ですが、幸福感をいただきました。

#### 【審査員からのコメント】

URの団地の緑溢れる空間の居心地の良さが、スケッチとメッセージから伝わって来る作品です。お子さんの手をひくお母さんや、ベランダの風景が心和むもので、暖かい団地の雰囲気が伝わってきます。スケッチの技術もピカイチ、素晴らしい作品です。 [池邊 このみ]





## UR 理事長賞

---

### 隅田の流れに 武元 清親

豊島五丁目（東京都）

にわか雨が上がり、西日がまぶしい隅田川沿いの遊歩道。団地をみながらの散歩の親子が気持ち良さそうです。

.....

#### 【審査員からのコメント】

にわか雨が上がり、澄んだ空気を感じさせる日暮れの情景と、水面に映る団地のシルエットが相まって、とても美しく仕上がっています。団地が年月を経て周囲に馴染み、今では隅田川の風景の一部となっていると強く感じました。 [ UR都市機構 理事長 上西 郁夫 ]



### 優秀賞（大西 みつぐ 選）

---

## ピンポン ハンラティー 梓

高の原駅東（京都府）

ある時はほうき、ある時は虫取り網。この技を身につけてから、下の階のおばあちゃんがお家の前に傘を置いておいてくれ、幼稚園からの帰りにピンポンすると、お菓子をくれます。温かい団地。大好きです。

---

#### 【審査員からのコメント】

悪戯ではなく、下の階のおばあちゃんの計らいで傘が準備されているようです。毎日のかわいい訪問者。きょうも、お菓子が待っていそうです。こんな温もりが豊かな環境を育んでいるのでしょうか。シンプルな構図ですが、おばあちゃんの笑顔がドアの向こうにうかがえます。素朴なスナップショットは生きている実感を伝えます。 [大西 みつぐ]



## 優秀賞（千葉学選）

### 夏の風物詩 荒谷 譲

郡山駅前（奈良県）

25年ほど住んでいるが初めて団地で花火をみるので、花火の高さ、位置がわからない。20時初打を5階自室からカメラでのぞき三脚の必要なことを確かめ、他棟の前で撮影開始。20時10分、残り20分しかないのでここで辛抱する。夜でも汗はべったり。花火はそれとは無関心で打ち上がる。それをみる人々は汗も忘れ花火に見入る。

#### 【審査員からのコメント】

団地の前の通りは、素っ気ない場所のようで、日常の様々な活動が溢れ出す団地らしい風景の一つだ。立ち話をしたり子供と遊んだりする、近所の人との交流の場でもある。その通りに、花火が打ち上がってみんなが降りてきた。その何気ない光景が花火の光によってシルエットとして美しく浮かび上がり、日常の中の特別な時間、団地らしい暖かな人のつながりを詩的に伝えている。 [千葉学]



## 優秀賞（なかだ えり 選）

### 親子の絆 朝岡 満子

辻堂（神奈川県）

どうしてわかったのか住人が居なくてドアの開け閉めが無い事をスズメが知り巣を作りヒナをかえたのです。30年近く住んで居る私の階段は初めての事。カラスがヒナの声聞きつけ近づくと親スズメが夢中でカラスを威嚇している様子を私はそっと見守り足音をしのばせてその場を去り、親子の絆の深さをしみじみ感じさせられましたね。

#### 【審査員からのコメント】

作者の応募4作品のすべてが、団地内の暮らしをいきいきと描いた力作でした。なかでもこの作品に惹かれたのは、お祭などのハレの日でなく、何気ない日常の一場面だったことです。見逃しがちな変化や気づきも、絵にしたことでくっきり、そして温かく浮かび上がっています。 [なかだ えり]



優秀賞（池邊 このみ 選）

## コミュニケーション広場 真田 俊弘

奈良北（神奈川県）

我が奈良北団地の第2広場は四季によっては桜など木々の花が咲き乱れて美しい。散歩道は色々な草花が咲き眺めながらの散歩は格別に楽しい。各棟でも花が咲き手入れをする方々と思わず会話が進む。まさに、ワンダフル・コミュニケーション広場です。プールでは小さなお子さん達のコミュニティの場……。

### 【審査員からのコメント】

奈良北団地での山が見える風景の中に、住棟と子どもの遊び場、プール等と、そこで遊ぶ親子が生き生きと描かれた楽しい作品です。花の世話をする人との会話をはじめ、団地の広場を「ワンダフルコミュニケーション広場」と名づけ、団地の暖かさが伝わってくる魅力的なスケッチです。  
[ 池邊 このみ ]



## 優秀賞（UR都市機構選）

---

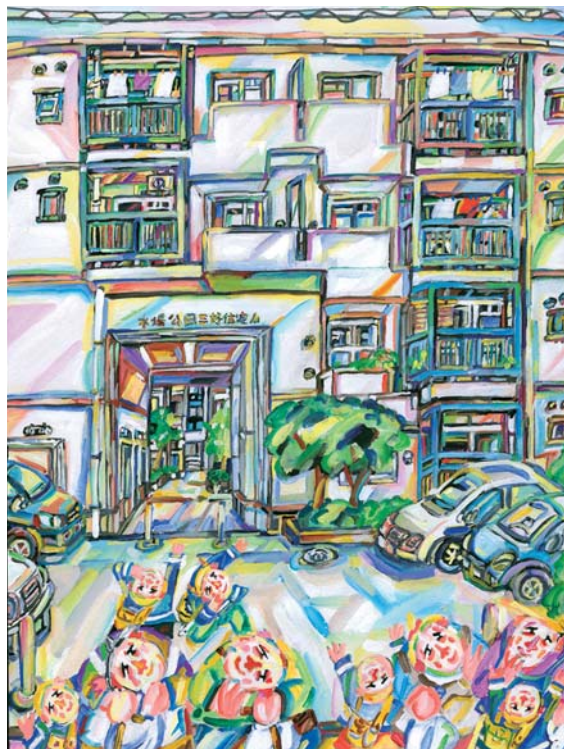
### 水都夏夜の彩り 能登 正俊

リバーシティ21イーストタワーズ、イーストタワーズII（東京都）

当団地は隅田川と晴海運河に面したところにあります。この日は晴海で花火大会が行われました。都内では尺五寸玉の大きな花火は、ここでしか上げられません。400メートルの高さに達する花火は団地の頭上を越え3キロメートル先でも見られました。

---

UR都市機構の職員投票により最多得票を獲得した作品です。



## 入賞

### おはよう、おはよう、 おはようございます。

高木 政史 木場公園三好住宅（東京都）

小名木川へ散歩の途中に素敵なUR住宅に出会いました。おはよう、おはよう、おはようございます。朝の元気な挨拶、ゴミ出しの日、笑顔の挨拶、ヨーロッパ風と思えたおしゃれなUR住宅を知り、私もここに住めたらなあーと思い、夢と笑顔をもらいました。



## 入賞

### 紅葉の絨毯

中野 未奈 大幸東（愛知県）

雨の日にも外に行きたがる2歳の息子を連れてしずしず出かけた日のこと。とても綺麗な紅葉のグラデーションに出会い、育児の疲れが一気に吹き飛びました。息子のおかげで団地の中で四季の移り変わりを日々実感しています。



## 入賞

### 緑の中で

飯田 祐子 桃山南（京都府）

緑がたくさんので。娘たちも大好きで、ブランコして楽しみました。直射日光をさえぎってくれるので、まだ暑い時期でしたが長い時間楽しめました。

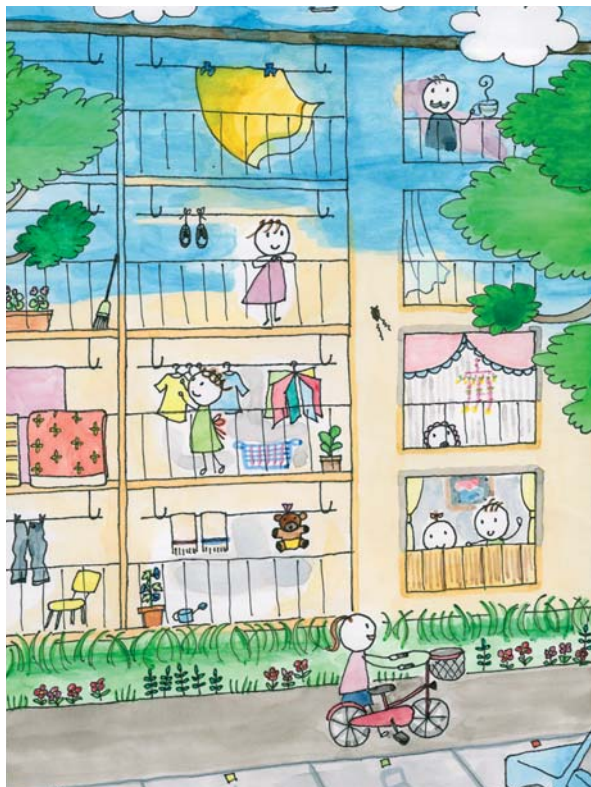


## 入賞

### 笑顔も思い出に

西原 妙 立川幸町（東京都）

両親が長年住んだ団地を離れることになり、姉と二人で孫達を連れて遊びに行きました。ベランダから見える公園は子供達も大好きで、はしゃぐ姿を見ていると少し寂しくなりました。私と同じように子供達にとっても思い出の公園になるのでしょうか。おばあちゃんの団地が好き。と言う長男の為にもいつかまた遊びに行きたいです。

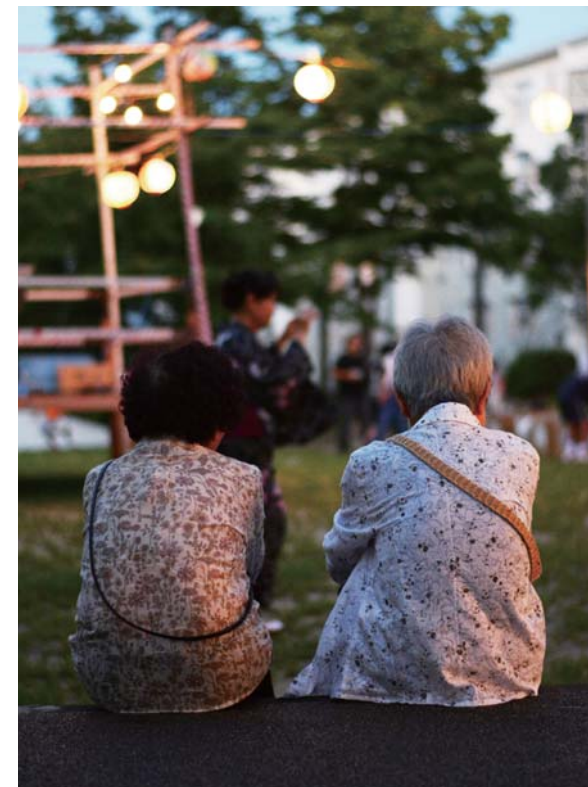


入賞

## 三階は、はじめて

中野 登貴子 あやめ台（千葉県）

先月、団地の一番端っこに引越して来ました。四階建ての三階です。二階より上に住むのは初めてで、たった一階の差なのに空が広く見えるのに、びっくりしました。とても、ぜいたくな気分です。団地というと、何となく暗いイメージを勝手に持っていたのですが、全然そんなことはなく、むしろ、これからの暮らしが楽しみです。



入賞

## 人を還る、団地祭り

塚原 健司 男山（京都府）

普段何気なく見ている団地の公園に、やぐらや屋台が並び、いつもとは違った雰囲気。今日は祭り。普段は家に居ているおばあちゃんも祭りがあるから外に出てくる。童心に還り、祭りを楽しんで、疲れて座っているところをおさめました。



入賞

## 一緒に食べよう

川上 勝正 えびな（神奈川県）

URの団地えびなは厚木駅前にありながら、前に田んぼがひろがっていて、毎年9月には「かかしまつり」が行われて地域の人たちが様々なかかしを作成して、多くの人たちが訪れます。

今年最優秀賞を取った「おにぎりざんまい」を撮影していたら、ご両親が子供さんを連れておにぎりを持たせて記念撮影をしている姿をご両親の了解を得て撮影させていただきました。



入賞

## 未来絵のモノリス

植村 勝 芦屋浜（兵庫県）

多くの人達がジョキングや家族との散歩で西宮御前浜公園を楽しみます。そして、いつも見えるモノリスの群れ。小さな子供達が大きくなり、将来、自分達の子供の手を握って歩く時も、同じ風景が見えることを期待します。





## 入賞

### 桜と月とアルビス前原

中台 健一 アルビス前原（千葉県）

毎年、春になるとアルビス前原の道路沿いにある桜並木がきれいに咲きます。桜並木から建物を狙ってみました。たまたま月も見えていました。



## 入賞

### 桜とともに。

松永 圭史 アーベインルネス諸岡（福岡県）

息子が生まれてから、三度目の春がやってきました。大好きな桜の季節です。息子がこの街で育って三年目の桜の季節です。こうして、家族とともに、笑顔で一年、桜の季節を迎えることのできる喜び。何もない日常を送れることの喜び。幸せな日々ありがとうございます。感謝の気持ちを込めて。来年も家族でこの街の桜をみれますように。



## 入賞

### 赤羽台観梅会

岩田 二郎 赤羽台（東京都）

年が明けるところから早や咲きの紅梅がチラホラ目に入る。この梅林には20本位白梅紅梅が咲き出すと見事なものだ。天国の妻へこのスケッチをと思い描いてみた。



## 入賞

### 桜夜景の遊歩道

西川 千明 芦屋浜（兵庫県）

桜の咲く前には近くの公園の梅林にメジロが飛び交い、春を連れて来て、そして桜が咲き、川面に夜桜が綺麗に照らしだされる。

自然を身近に感じて楽しめる住まいです。



## 入賞

### 静けさの中で

谷川 憲一 芦屋浜（兵庫県）

スーパームーン出現の日。団地の建物群とのフレーミングするには午前5時頃にタテ位置に撮らなければならない。生憎の厚雲にはばまれはしたが一瞬とぎれシャッターを押すことができました。団地の明りと海面の映り込みの美しさがまるで不夜城のようです。



## 入賞

### 朱と黄金の夕焼け

中山 瑞雄 コンフォールさがみ南（神奈川県）

8月のある日突然雲が焼けはじめた、急いで9号棟14階に上る、コンフォールの上は真っ赤、遥か奥多摩の山脈の上は黄金色、初めて見る朱と黄金の夕焼けだった。



## 入賞

### 雨上がり

瀬川 全澄 千里青山台（大阪府）

日曜日の雨上がり、緑に囲まれた団地の小道を、親子が軽やかに。

応募団地

	応募団地数
北海道	3団地
宮城	2団地
茨城	2団地
千葉	15団地

北海道



五輪 花川中央 東札幌六条

宮城



仙台鶴ヶ谷 将監

茨城



つくば・さくら 戸頭

千葉



あやめ台 アルビス前原 稲毛海岸駅前プラザ

埼玉



朝霞浜崎

応募団地数

埼玉	17団地
東京	44団地
神奈川	32団地



入間駅前プラザ



アーバンみらい東大宮東一番街



尾山台



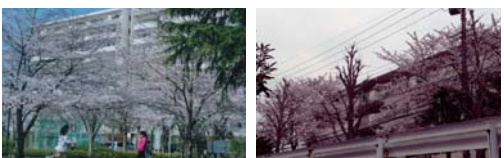
かわつるグリーンタウン松ヶ丘 北坂戸



三郷早稲田パークハイツ第二 原市



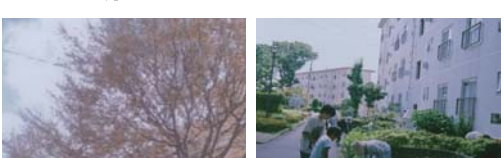
大津ヶ丘



グリーンタウン光ヶ丘 さつぎが丘



湖北台



サニータウンにれの木台 千草台



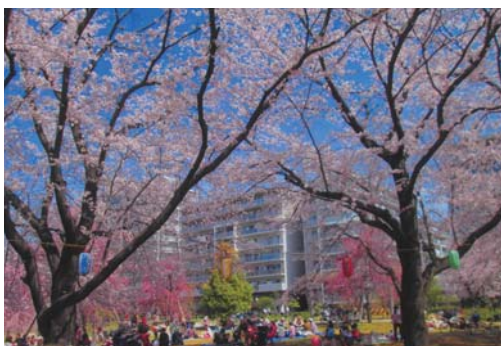
村上



千葉幸町 豊四季台



浦安マリナースト21 望海の街



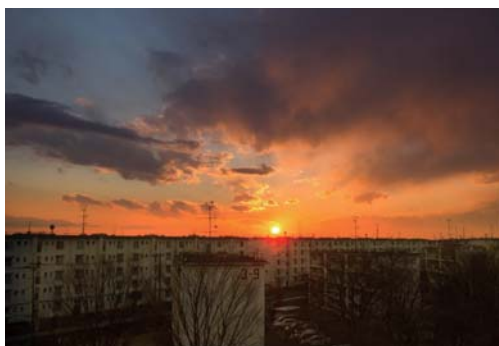
コンフォール上野台



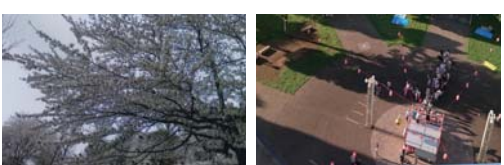
東坂戸 プラザシティ新所沢けやき通り



田島



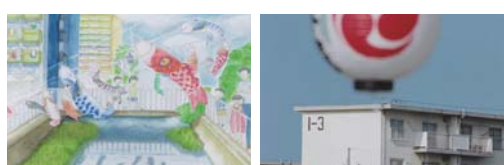
武里



千葉ニュータウン高花 牧の原



草加松原



みさと 幸手



プラザシティ新所沢緑町第二

東京



赤羽台



勝どきビュータワー



大島六丁目



赤羽北二丁目



シーリアお台場三番街



多摩平の森



立川若葉町



神代



アクティ汐留



ヌーヴェル赤羽台



アーバンライフ月島駅前イースト



新川・島屋敷通り



高島平



立川幸町



館ヶ丘



東雲キャナルコートCODAN



大島四丁目



金町駅前



北砂五丁目



亀戸二丁目



多摩ニュータウン長池公園せせらぎ通り南



豊島五丁目



にしき平和台



花畑



小平



けやき台



木場公園三好住宅



小島町二丁目



シーリアお台場一番街



暗海アイランドトリトンスクエアアーバンタワー



ハートアイランド新田一番街



多摩ニュータウン長池公園せせらぎ通り北



光が丘パークタウン大通り中央



日の出町



ひばりが丘



ひばりが丘パークヒルズ



ブロムナード東伏見



サンラフレ百合ヶ丘



シャルール海岸通



湘南ライフタウンパークサイド駒寄



善行



町田山崎



武蔵野線町パークタウン



ベイシティ晴海スカイリンクタワー



鶴が台



辻堂



オルトヨコハマビュータワー



十日市場ヒルタウン



奈良北



リアシティ21 イーストタワーズ、イーストタワーズII



船堀一丁目



神奈川



金沢シーサイドタウン並木二丁目



上和田



飯島



金沢シーサイドタウン並木一丁目第二



コンフォールさがみ南



虹ヶ丘



南幸



西久保町公園ハイツ



浜見平



コンフォール上倉田



えびな



小杉御殿



ブロムナード矢部



プラザシティ相模大野



橋本四丁目



保土ヶ谷駅前ハイツ



星が丘パークランドつくみ台



南永田



南神大寺



ミラリオ鶴見小野



ミラリオ大師河原



百合ヶ丘みずぎ街



洋光台中央



松富



丸子南



アーバニア志賀公園



アーバンラフレ小幡

応募団地数	
静岡	2団地
愛知	14団地



男山



久御山



グリーンタウン横島



コンフォールかぶと台



高の原駅東



壬生坊城第二



桃山南



伏見納所



光明池駅前



アルビス旭ヶ丘



泉北竹城台一丁



泉北桃山台一丁



泉南一丘



アーバンラフレ鳴海



アクアタウン納屋橋



朝倉



桜田



大幸東



岩成台



水草



高座台



高森台



鳴子



白鳥パークハイツ大宝



藤山台



泉北竹城台二丁



千島



千里青山台



アルビス緑丘



サンヴァリエ春日丘



桜宮リバーシティ中央



サンラフレ出来島



千里桃山台



鶴山台



白鷺



春木



富田

# 奈良



郡山駅前



奈良・紀寺



平城第二



高の原駅前



桂木



森之宮



千里竹見台



若山台第四

応募団地数	
山 口	1 団地
福 岡	13 団地

# 山口



新下関

# 福岡



室住



アーベインルネス諸岡



荒江



金山

応募団地数	
兵 庫	10 団地
奈 良	5 団地

# 兵庫



キャナルタウンウエスト



逆瀬川



武庫川



志染



千早



大名第三



堤



徳力



名谷



ポートアイランド



ルミエール千鳥



浜甲子園



浜甲子園さくら街



芦屋浜



アーベインルビエ清水



萩原



日の里



アーベインルネス足立



上西町

## 審査の風景

人々が住まう空間であると同時に、家族や住民同士、地域の人々との交流などが生まれるコミュニティとしての機能も合わせもつ団地。独特の景観を作り出す建築物としても、昨今、注目を集めています。「UR賃貸住宅 団地景観フォト&スケッチ展2015」では「ふれあいの団地～暮らしの風景～」をテーマに、団地の魅力をさまざまな視点から表現した写真とスケッチを募集しました。作品自体はもとより、タイトルおよび添えられたメッセージに込められた思いも含めた総合的な審査によって、各部門の受賞作品が決定しました。審査員の皆さんは、どのような視点から作品を選んだのでしょうか。審査後の講評から、各部門の受賞作品それぞれの魅力に迫ります。

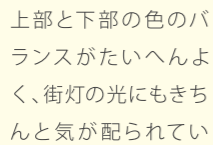


フォト大賞  
「雪の日」

大西 みつぐ スケッチと写真を並べてみると、絵は夢のある団地景観を表現しているように思えます。最近のカメラは、誰が撮っても簡単に撮れるという様な技術体系があり、人物像よりも団地の大きな空間を写した作品が多く見られる印象があります。

しかし、ある程度のレベルに仕上がるとはいえ、そのなかにスパイスを加えると、見ごたえのある写真になります。そうしたことから考えると、この作品はちょっとした工夫がよくなされていると思います。夕方、日が落ちて暗くなってきたときに、ただ単にポンとシャッターを切るだけでは、これほどまでに雪がきれいに写ってこないんですね。おそらく、内蔵のストロボを光らせたのではないのでしょうか。

また、空の色が微妙に変わりゆく時間帯なので、



大西 みつぐ氏

上部と下部の色のバランスがたいへんよく、街灯の光にもきちんと気が配られています。家から漏れるオレンジ色の明かりは、明るい夕餉のイメージですね。そこに人がいることも伝わってきます。非常にバランスよく納まっている、技術的に上手な写真だなと思いました。

池邊 このみ 今回は思いのほか多様な写真が集まりましたが、なかでも若い撮影者や被写体が小さなお子さんというのが目立つという印象があります。毎回思うのですが、団地の風景の特色である、人の存在が感じられるコミュニティとしての温かさが伝わる作品が選ばれているのではないのでしょうか。また、団地らしさがうかがえる特徴



池邊 このみ氏

的な空間を切り取った作品も多いと思います。「雪の日」は、今まで見てきた雪の写真とは少し違って、写真ではあるけれど、メルヘンチックな絵画のような温かみがあります。明かりがもった団地の景色は、クリスマスの空のような雰囲気がありますね。車が映りこんでいますが、それをほとんど感じさせないほど、景観的にまとまっていると思います。

大西 みつぐ とても気持ちのよいバランスでまとまっていますね。

池邊 このみ 構図がすごくいいし、温かみがあります。そのままカードにしてもよさそう。



スケッチ大賞  
「みどりがいっぱい」

なかだ えり 外観、緑、人という要素がすべて本当にバランスよくとても細かく描きこまれていて、見ごたえがあります。

応募作品全体を見ると、今回はそれぞれの作品においてバランスがとれている印象があります。技術的に上手いかどうかだけではないですね。特に絵のほうが、メッセージとの結びつきが強いように感じました。

池邊 このみ 全国にあるURの団地はこんなに素敵なんだよ、こんなにいい空間がいっぱいあって、私たちはこんなに楽しい生活を送っているよというメッセージを一人でも多くの人に伝えたいという思いを込めて描かれたものでしょう。UR団地の魅力が存分に表れている作品だと思います。今回の応募作品全体を見ると、団地が見せるさまざまな情景がよく表現されていると思います。こうして見る機会に恵まれて、とても満足しています。



優秀賞(なかだ えり 選)  
「親子の絆」

なかだ えり 子供のころは団地に対して無機質なイメージがありましたが、何年か続けて作品を拝見するうちに、自然が豊かで季節感あふれる空間であることがわかるようになりました。まるで公園に住んでいるようなイメージで、都会のなかにあって、とても贅沢な空間なのではないかと思います。四季を大切に、楽し



なかだ えり氏

みながら暮らしている方が多いんだな、と感じられます。「親子の絆」は、カラスという嫌われがちな存在を、楽しい情景として見るこ

とができるように仕上がっている点が素晴らしいと思います。どちらかといえばイベントを描く作品が多いなかで、かなり面白い観点なのではないでしょうか。ささやかな暮らしのなかの幸せがよく表現されていて、心に残りました。

池邊 このみ 団地の壁の上にスズメの巣があって、そこにヒナがいる……。そんな細かな描写もいいですね。

なかだ えり 本作の作者は毎年応募して下さる方とのことですが、メッセージがとても面白く、

まるで童話のようです。毎年送ってくださる作品を集めたら、一冊の絵本にできそうですね。池邊 このみ スケッチとメッセージ両方が一体となって受賞されている点からみても、団地に対する思いがきちんと表現されている作品が評価されているのではないかと思います。







優秀賞（大西 みつぐ 選）  
「ピンポーン」

千葉 学 今回で7回目を迎えるこのコンテストでは、団地の中の名所といわれる場所は、比較的同じような形で撮影されて過去にも応募があったりするので、今年は日常の風景や、あるいは住んでいる人々のちょっとした“気づき”によって、場所に対する愛着や住んでいることの楽しさが伝わる作品に注目してみたいと思っていました。また、建築的な視点からも、団地のよさがうまく伝わってくる作品を見つかけられると

いいなと思って選びました。応募写真全体を見ると、どうしても団地の外部を写したものが多く、団地の中や廊下という場所に着目した写真というのは本当に少なかった。例年そうなのですが、そうしたなかで「ピンポーン」は、扉が並んでいる廊下の風景に目をつけたことに大変共感しました。また、子供が傘で“ピンポーン”しているという姿自体が大変微笑ましいですね。

大西 みつぐ お子さんの敢闘賞だな。僕は昨日ふたりの孫に会ってきたこともあって、孫を思い出させてくれるこの作品が好きです。

千葉 学 扉を見れば、古い団地であることが



千葉 学氏

わかり、時代まで伝わってくるようです。そこで小さなお子さんが生まれて、生き生きとした表情を見せる。そんな生活が当然のように続いている。添えられているメッセージには、子供が呼び鈴を押しやすいように、近所の方が配慮して傘を置いてくれていると書かれています。団地ならではのコミュニケーションですね。住んでいる皆さんがそれぞれ新しいツールを開発しながら、さまざまなコミュニケーションを育んでいっているということが写真から伝わってきて、本当に感動的です。素晴らしいと思いました。団地の中で繰り広げられるさまざまなコミュニケーションや、いろいろなつながり方、あるいは団地ならではの皆さんなりの秩序などが今後も伝わってくることを期待させてくれます。

大西 みつぐ 内容的には、物語がある写真も何枚かありました。そういう作品に関しては、メッセージを読んでから写真を見てますが、写真で表現できる部分はがんばって表現してほしいですね。言葉と映像をどういうふうに抱き合わせるかというのもこれからの課題だと思います。



優秀賞（池邊 このみ 選）  
「コミュニケーション広場」

池邊 このみ 奈良北団地をスケッチしたこの作品には、「まさにワンダフル・コミュニケーションです」というメッセージが添えられています。メッセージも含めて見る事ができるのが、このコンテストの良さですね。プールと住棟と歩道という団地の要素が真ん中から四方を見るように描かれていて、想像力豊かでワンダフルです。実際は、このようには見えないのですけれどね。団地の遊び場のオープンスペースのさまざまな魅力があふれていて、後ろには山も見えているところがいいな、と思いました。70代の男性の作品です。



優秀賞（千葉 学 選）  
「夏の風物詩」

千葉 学 何年かこのコンテストの審査に参加させていただいていますが、皆さんの応募作品を通じて団地をより詳しく知ったという思いがあります。団地がみんなの原風景になっているという印象は年々強くなり、今では地域の風景を代表する存在になってきているようにも思います。僕は子供のころ団地には住んでいなかったのですが、団地の風景は近所にたくさんありました。団地の階段を下りたところの前の通路に、住んでいる人たちがみんな出てきて何となくたたずむという風景自体は、いろいろな場面で目にしました。みんなが一列に並んで花火を見ているという風景は、非常に団地らしいと思います。



なかだ えり 写真の場合は、人に寄ったり、内部を写したり、切り取った視点であるにもかかわらず、団地だということがわかるところがスケッチと違うと思いました。より人間らしさをクローズアップしている点が面白いと思います。



今回は特に、そこに住む人たちの生活感や人間味を感じられる作品が多かったのではないのでしょうか。

大西 みつぐ 今の写真は情報量も含め、よく写ってしまいますから、技術的な面を気にして撮られる方も多くいらっしゃると思います。ですが、どう上手く撮るかよりもむしろ、ストレートな眼差しが一番大事だと思います。技術的な完成度より、どうしてこの被写体を撮りたかったのかという心の内をもっともっと素直に示してくれてもいいのではないのでしょうか。そうすれば、いまの時代の生活感がさらに表現されてくるのではないかと感じました。

フォト & スケッチ展の実施につきまして、応募者の皆様及びご協力いただいた皆様に、深くお礼申し上げます。

<http://www.ur-net.go.jp/urbandesign/>

企画・発行 独立行政法人都市再生機構 技術・コスト管理部 都市再生設計チーム 森田 正彦 萩野谷 陽子 溝下 麻美  
〒231-8315 神奈川県横浜市中区本町6-50-1 横浜アイランドタワー  
制作 株式会社URリンケージ 都市・居住本部 企画設計部

2016年 2月発行

※本誌の写真および内容を無断で複写・転載することを禁じます。